



学校だより

No.2



令和7年10月30日発行
福島県立だて支援学校

◆保健部

健康で安全な生活ができるよう保健教育や情報の発信を行います。

保健部では、子どもたちが自分の体を知り健康な生活を送る力を育めるよう保健指導や情報の発信を行っています。情報の発信として毎月の保健指導目標に応じた掲示をしており、子どもたちが操作できるような教材の工夫をしています。また、ニーズに応じた保健指導も行っています。子どもたちが自分の体や健康に関心をもったり話題にしたりする姿が見られています。



◆情報教育部

ICTの効果的な活用のため教員研修や情報発信をして共有を図ります。

ICTの効果的な活用がなされるよう、タブレット端末やPC操作について、教員にアンケートを行い、4つの内容について教員向けの研修を行いました。プレゼンテーションソフトやデザインソフトについての操作方法や、タブレット端末にインストールされているコミュニケーション支援アプリの操作、活用など、教員の業務の効率化や児童生徒の支援につながる研修となりました。

◆生徒指導部

情報共有を図り、安全な学校生活が送られるようにしていきます。

生徒指導部では、児童生徒が明るく、元気に安心、安全な学校生活を送ることができるよう各学部や関係機関との情報共有を密に行っています。また、児童生徒の自立と社会参加に向けて、実態に応じた規範意識についての指導や個に応じた支援を教育活動全体で続けていきます。



学校だよりは、年3回発行予定です。各学部や各部等の学校経営・運営ビジョンの目標達成状況や達成に向けた取り組みについてお知らせします。

◆中学部

友達と協力して活動に取り組もうとする生徒を育てます。

中学部では、29名の生徒たちが、様々な行事や学部集会等で自分の役割を果たし、お互いの良さを認め合いながら、学校生活を送っています。全員で力を合わせ成し遂げ、協力することの大切さを感じ取ることができるように支援しています。目標達成に向けて努力し得られた成功体験が自己肯定感を高め、次の挑戦へのモチベーションにつながっています。



集団活動の場面では、自分の気持ちをコントロールしたり変化する状況に対応したりする力を育むため、個に応じた支援を進めています。また、時と場に応じた言葉遣いや適切な距離の取り方等について具体的に伝え、望ましい人間関係を築くことができるよう教育活動に取り組んでいます。

◆地域支援センター【だてっこ】

研修や相談支援の充実と関係機関との連携に努めます。

地域支援センター「だてっこ」は校内、校外のいろいろな方からお声かけいただいています。どの業務も「対話」を大切にすることで、相手の思いや願いを知り、それに合わせたかかわりや情報提供、連携ができるように務めています。一人一人が「地域で共に生き共に学ぶ」ために、今後も地域を知り、地域とつながることを大切にしていきます。



地域コーナー

～伊達地域で共に学び共に生きる～

中学部は、伊達市にある白井木工所から白井貴光様に来校いただき、のこぎりの使い方を学びました。ご指導のおかげで、全行程を生徒だけで行った木工製品を作ることができるようになりました。製品はだてっこみらいフェスティバルで販売予定です。



(学校だよりは、だて支援学校 HP (<https://date-sh.fcs.ed.jp>) からご覧いただけます。)